

## 香川県で採集したムクゲキノコムシ科 (II)

澤田 義弘<sup>1</sup>・藤本 博文<sup>2</sup>・滝 朋子<sup>3</sup>

<sup>1</sup>〒567-0864 大阪府茨木市沢良宜浜 2-17-14 (株) ハウスドクター 環境衛生事業部 研究室

<sup>2</sup>〒760-0005 香川県高松市宮脇町 1-17-4

<sup>3</sup>〒769-2603 香川県東かがわ市横内139-2

### A list of family Ptiliidae (Coleoptera) collected in Kagawa (II)

Yoshihiro Sawada<sup>1</sup>, Hirofumi Fujimoto<sup>2</sup>, Tomoko Taki<sup>3</sup>

<sup>1</sup>Section of environmental sanitary, House Doctor Co. Ltd., 2-17-14, Sawaragihama, Ibaraki-shi, Osaka, 567-0864, Japan

<sup>2</sup>1-17-4, Miyawaki, Takamatsu, Kagawa, 760-0005, Japan

<sup>3</sup>139-2, Yokouchi, Higashikagawa, Kagawa, 769-2603, Japan

ムクゲキノコムシ科 (コウチュウ目) は、ハネカクシ上科に属するグループで、日本国内から約50種が知られる (久松, 1989; Sawada & Hirowatari, 2002a, 2002b, 2003; Sawada, 2008, 2010, 2021) が、未だに多くの未記載種が存在する。どの種も体長2mm以下と微小な上に、本科が掲載されている保育社の原色日本甲虫図鑑の第2巻 (上野ほか編, 1985) にも未掲載の種が多く存在することから、分布に関する記録は少ない。香川県においても長らく分布記録の報告はなかったが、浅野 (2009) や澤田・藤本 (2018) により8種が記録されている。

筆者の一人滝は、当時の勤務地である三本松高校理数科での課題研究の指導において、2012年1月から2012年12月までの1年間にわたり、東かがわ市水主の虎丸山 (新宮池付近) に2基のM式FIT (フライト・インターセプション・トラップ) を設置し、東かがわ市における主に甲虫類を中心としたファウナの把握と、科レベルでの発生活消長調査を試み

た (M式FITについては丸山 (2003) を参照)。この調査で得られた標本は、当地のファウナを知り自然環境を理解する上でも、また分類学的研究の材料としても貴重なものである。しかしこれまでに発表された記録はハネカクシ科のヒゲトハネカクシ属ヒゲトハネカクシ亜属の標本データ (Yamamoto & Maruyama, 2016) のみにとどまっている。残りのサンプルは未同定、あるいは未発表のままとなっており、正確な同定に基づいた公表が課題となっている

本稿では、本サンプルのうち、藤本が澤田に同定を依頼したムクゲキノコムシ科甲虫の記録について報告する。

#### 調査地と調査方法

調査地点は、東かがわ市水主に位置する虎丸山 (標高417m) の麓にあたる、新宮池沿いの標高45m付近の、カシ類を主体とした二次林内である。当地は虎丸山の北面に当たり、南から流れ込む谷川が東側の新宮池に流

れ込んでおり、また西側は尾根筋となっている。高木としてクヌギやコナラ、アラカシ等が優占し、ヒサカキなどの低木が見られる。M式FITは、水辺に対向する東西方向と、斜面に対向する南北方向に5mほどの距離をあけて設置した。保存液には、界面活性剤を少量加えた酢酸溶液を用いた。落下した昆虫は1週間ごとに回収した、甲虫類については滴が乾燥標本にし、藤本が科ごとのソーティング等の整理、および保管を行っている。

### 標本目録

前述のように、調査地は香川県東かがわ市水主・虎丸山 新宮池付近（標高45m）、採集者は三本松高校理数科である。本報告の標本は澤田が保管している。

1. *Cissidium matthewsi* Johnson, 2004  
ヒサゴムクゲキノコムシ  
1 ♂, 20-26. VII. 2012  
本県では讃岐山地山麓部において、林内の落葉層やFITで得られている（藤本・澤田, 2018）。
2. *Ptiliola kuntzei* (Heer, 1841)  
クンツヒメムクゲキノコムシ  
1 ex., 27. IV.-3. V. 2012  
香川県未記録種と思われる。体長0.5-0.6mm。微小な種で、前胸背板側縁がほとんど平行であり、鞘翅会合部前半に本属だけにみられる櫛歯で押したような点刻列を有する。
3. *Acrotrichis lewisii* (Matthews, 1884)  
ムナビロムクゲキノコムシ  
1 ♂ 4 ♀♀, 20-26. IV. 2012  
1 ♀, 27. IV.-3. V. 2012  
讃岐山地山麓部から島嶼部まで、林内の落葉層やFITで普通に得られている（藤本・澤田, 2018）。

4. *Acrotrichis latipennis* Nakane, 1975  
ナカネムナビロムクゲキノコムシ  
1 ♂, 6-12. IV. 2012  
香川県未記録種と思われる。体長0.6-0.7mm。本種は北海道釧路で採集された標本をもとに新種として記載され、北海道と本州からの記録があったが、吉田ら(2011)により徳島県からの記録がある。また本種は澤田・藤本(2018)で報告されたケシツブムクゲキノコムシ *Acrotrichis sericans* (Heer, 1841) に酷似し、触角基部や脚が薄い黒味を帯びることで区別できるとされているが、解剖して交尾器を鏡検しないと確実な同定はできない。

以上4種を報告した。このうち、クンツヒメムクゲキノコムシ、ナカネムナビロムクゲキノコムシの2種は香川県未記録種と思われる。香川県から記録されたムクゲキノコムシ科は10種となった。

本調査ではこの他、フチドリムクゲキノコムシ属 *Nossidium* やウスイロムクゲキノコムシ属 *Ptinella* の未同定種が得られているが、これらは種名が明らかになった時点で報告したい。

### 文 献

- 浅野真, 2009. 香川県島嶼小豆島の海水浴場で採集した昆虫. へりぐろ30: 35-38.
- 久松定成, 1989. コウチュウ目ムクゲキノコムシ科. 九州大学農学部昆虫学研究室・日本野生生物研究センター共編, 日本産昆虫総目録I: 250-251.
- 丸山宗利, 2003. 好蟻性・好白蟻性甲虫の採集法. 昆虫と自然38(9): 43-47.
- Sawada Y., 2008. A revision of the genus *Cissidium* (Coleoptera: Ptiliidae) in Japan. Special Publication of the Japan Coleopterological Society, Osaka, 2: 101-126.

- Sawada Y., 2010. Redescription of *Acrotrichis latipennis* Nakane1974 (Coleoptera: Ptiliidae). Entomological Review of Japan, 65 (2): 281-283.
- Sawada Y., 2021. Discovery of the genus *Ptiliolum* FLACH, 1888 (Coleoptera, Ptiliidae) from Japan, with a description of a new species. Elytra New Series. Tokyo, 11 (1): 15-18.
- 澤田義弘・藤本博文, 2018. 香川県で採集したムクゲキノコムシ科. 香川生物45: 5-7.
- Sawada Y., Hirowatari T., 2002a. Systematic position of the genus *Kuschelidium* Johnson (Coleoptera, Ptiliidae), with description of of a new species from Japan. Elytra, Tokyo, 30 (2): 431-438.
- Sawada Y., Hirowatari T., 2002b. A revision of the genus *Acrotrichis* Motschulsky (Coleoptera : Ptiliidae) in Japan. Entomological Science 5: 77-101.
- Sawada Y., Hirowatari T., 2003. Discovery of the genus *Skidmorella* Johnson (Coleoptera: Ptiliidae) in Japan, with descriptions of two new species. Entomological Science 6: 309-314.
- 上野俊一・黒澤良彦・佐藤正孝編, 1985. 原色日本甲虫図鑑, II.
- Yamamoto S., Maruyama M., 2016. Revision of the subgenus *Aleochara* Gravenhorst of the parasitoid rove beetle genus *Aleochara* Gravenhorst of Japan (Coleoptera: Staphylinidae: Aleocharinae). Zootaxa 4101, (1): 1-68.
- 吉田正隆・西川勝・田中光治・櫻木大介. 2011. 美馬郡つるぎ町一字地域の甲虫. 阿波学会紀要57: 61-70.